小6 中学受験 算数 きほん こたえ　名前 ＿＿＿＿＿＿

点の移動とグラフ

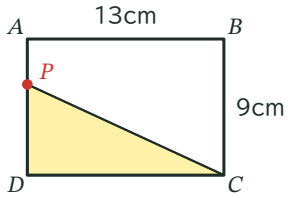
＿＿＿月＿＿＿日

れい 点Pの位置は道のり＝速さ×時間で出し、頂点を通るごとに辺をかぞえて、どの辺の上かを決める
円周上を回る2点は、1秒に進む角度の差で、重なる(360°差)・反対がわ(180°差)を考える

1 辺の上を動く点 基本

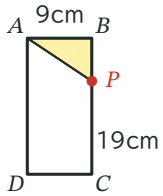
次の問いに答えなさい。

□ (1) 図の長方形ABCDで、点Pは頂点Dを出発して、辺DA、ABの上をA、Bの順に毎秒2cmの速さで動きます。三角形PCDの面積がはじめて39cm²になるのは、出発してから何秒後ですか。



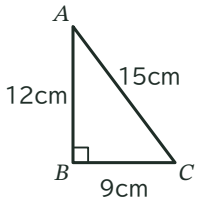
39 × 2 ÷ 13 = 6　6 ÷ 2 = 3　答え 3秒後

□ (2) 図の長方形ABCDで、点Pは頂点Bを出発して、辺BC、CDの上をC、Dの順に毎秒1cmの速さで動きます。出発してから6秒後の三角形ABPの面積は何cm²ですか。



1 × 6 = 6　9 × 6 ÷ 2 = 27　答え 27cm²

□ (3) 図の直角三角形ABCの辺の上を、点Pは頂点Aを出発して、A、B、Cの順に毎秒2cmの速さで1周し、Aにもどると止まります。AB=12cm、BC=9cm、CA=15cmのとき、点Pが止まるのは、出発してから何秒後ですか。



12 + 9 + 15 = 36　36 ÷ 2 = 18　答え 18秒後

できた ＿＿＿ / 3問

学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。

chiritsumo-drill.com
ほかの プリントは こちら